

# 地元・普光寺町で 農業経営をスタート

初年度となる今年は、基本を大切に、  
まずはしっかりと成果を出したいです。



**農**業を始めたきっかけは、「自分が作ったお米で喜んでもらいたい」という思いから。勤めていた会社を退職後、地域の若い手農家に指導を仰ぎ、農業に取り組んできました



美しい水田の景観を維持するために、こまめな除草作業を心掛けています。

## 初年度は基本を大切に

彦根市普光寺町  
竹内 茂樹さん(38)  
主要作物の作付面積  

作物名	作付面積
水稻	3.6ha

令和元年(2019年)度

地域の若い手農家のもとで6年間、農業を基礎から学びました。今年度から独立し、地元の普光寺町で水稻を栽培しています。作物を育てるのは、自然を相手にするということです。そのため、独立後も日々勉強の毎日が続きます。現在栽培しているのは「みずかがみ」「シヒカリ」「秋の詩」の3品種。初年度となる今年は、基本を大切に、まずはしっかりと成

果を出せるよう取り組んでいます。

## 就農のきっかけと農業の魅力

農業を志したのは、「自分でおいしいお米を作り、誰かに喜んでもらいたい」という気持ちがきっかけです。

「食」や「農」という部分で、地域と密接した関わりを持つことが農業の魅力の一つと考へています。でもやっぱり一番うれしいのは、手間を掛けた分、良いものが収穫できた時です。されだけは何事にも代えられない、最高の魅力です。

## 水田を活用した複合的な農業経営を目指す

水稻と野菜の栽培を組み合わせることで、複合的な農業経営を目指しています。水稻の収穫後は、ナバナの作付けを計画しており、JAを通じて市場に出荷するほか、JA直売所にも出荷予定です。また、水稻やナバナ以外にも、水田を活用した様々な作物の栽培に挑戦したいと考えています。今後も真摯な気持ちで地域農業に取り組んでいきますので、よろしくお願いします。

Search!

## 今月の表紙

今月の表紙は「彦根梨」の収穫作業です。毎年大人気の「彦根梨」ですが、そのおいしさの陰には生産者の大変な努力があります。「彦根梨」は、彦根梨生産組合の皆さんのが梨をおいしく育てるために創意工夫を凝らし、また樹上での栽培になるので首や肩を酷使して作っておられます。生産者の方々に感謝して、旬のおいしさを味わいたいですね。



## Contents

- 4 特集 第22回 通常総代会開催
- 6 今日からはじめる 家庭菜園
- 8 ピックアップ! 地域のEすとニュース
- 10 あつまれ 地域のEひと
- 12 スタッフルーム
- 14 おいしくうれしく 魔法のレシピ